



JRC2007 日程表

4月13日(金)	9:00	日本医学放射線学会	日本放射線技術学会	日本医学物理学会	日本画像医療システム工業会	9:00
	10:00	合同開会式				
4月14日(土)	8:00					9:30
	19:00	合同会員懇親会				
4月15日(日)	8:00					9:30
	16:00	表彰式・閉会式				

- 学術発表**
- 特別講演
 - シンポジウム
 - 電子ポスター (CyPos)
 - CyberRad
 - 教育講演
 - 口述発表
 - イメージインタープリテーション

参加登録費

学術大会(当日)	会員	¥12,000	(不課税)
	非会員	¥19,000	(税込)
機器展示会		¥3,000	(税込)
合同会員懇親会		無料	

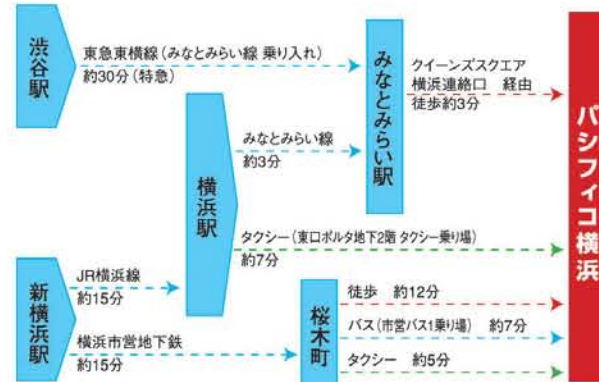
会場

日本医学放射線学会/学術集会	会議センター
日本放射線技術学会/学術大会	会議センター
日本医学物理学会/学術大会	会議センター
CyberRad 2007	展示ホール
日本画像医療システム工業会/機器展示会	展示ホール

会場への道案内

パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
TEL.045-221-2155



JRC 日本ラジオロジー協会

〒101-0021 東京都千代田区神田小川町3-8王子不動産神田ビル7階
TEL.03-3518-6111 FAX.03-3518-6139 URL:http://www.j-rc.org

JRC2007



第66回 日本医学放射線学会学術集会

第63回 日本放射線技術学会学術大会

2007 国際医用画像総合展

第93回 日本医学物理学会学術大会

CyberRad 2007

パシフィコ横浜
2007年4月13日(金)~15日(日)

JRC 日本ラジオロジー協会

ごあいさつ

放射線医学関連の学術集会、放射線医療機器展示を共同で行うべく発足したJRCも、2007年には20年目を迎えるまでになりました。

JRCは日本医学放射線学会(JRS)、日本放射線技術学会(JSRT)、日本画像医療システム工業会(JIRA)に、新しく日本医学物理学会(JSMP)を加えた4つの団体からなっています。

「放射線なくして医療なし」と言われていましたが、近年さらに放射線医療は目覚ましく発展しています。毎年4月に行われる放射線医療機器の展示会(国際医用画像総合展)への参加者は、2万人を超えるまでに成長し、医療機器展示ではわが国最大のものとなっています。

しかし国民のみならず医療関係者にも放射線医療の現状、放射線診断・放射線治療の臨床的有用性、医療への貢献が十分理解されているとは思えません。放射線科医の仕事はもちろん、診療放射線技師、医学物理士などについてもあまり知られていません。

放射線医療の発展に少しでも貢献できるように努めるとともに、放射線科医、診療放射線技師、医学物理士の社会的な立場が向上するようにお手伝いいたします。毎年4月に横浜で開催される学術集会、国際医用画像総合展をより多くの方々に参加していただけるよう、実り多いものにいたします。

これからも皆様のご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



JRC代表理事
遠藤 啓吾

遠藤 啓吾



第66回日本医学放射線学会学術集会は2007年4月13日～15日、パシフィコ横浜を会場として行います。2年前から、同じく2007年に大阪で行われる日本医学会総会と連動して大阪で行うことを模索してきましたが、JRC全体として様々な状況を考慮した結果、横浜で行うことになりました。

メインテーマは「放射線医学の光と影」としました。放射線医学の進歩は光り輝くばかりに見えますが、影といえる部分もあります。放射線医学の光と影を明らかにすることを、2007年のテーマにしたいと思います。

前回からすべての一般演題は電子ポスター(CyPos)での発表となりましたが、口演しない演題では、質問やコメントを受けることができません。そこで今回は、口演のための時間をできるだけ多くし、口演からもれた演題に対しても、質問、コメントを受けることができるようにします。そのためには、学会の少しでも前から電子ポスターを見ることができるようになりたいと思います。また、昨年好評だった研修医セミナーも引き続き行います。

多数の皆様方のご参加をお待ちしています。横浜でお会いしましょう。



第66回日本医学放射線学会学術集会
会長 中村 仁信

中村 仁信



第63回日本放射線技術学会総会学術大会はJRC2007大会の一環として平成19年4月13日～15日の3日間、パシフィコ横浜を中心に開催されます。大会テーマを「放射線医学の光と影」、日本放射線技術学会としてのテーマを「原点から最先端技術まで」とさせていただきます。若い研究者、医療従事者の教育も学会の使命とし、教育プログラムも可能な限り充実させ、また、最新の情報の伝達にも力を注ぎたいと準備を進めています。

3年目となるCyPosも更に充実させ、みなさまに発表しやすい場、勉強しやすい場を提供できるよう最大の努力をしていきたいと考えています。従来は展示発表の形式を踏襲し、CyPos発表を口述発表とは別会場で発表していただいていたのですが、今大会からはCyPos発表も口述発表も同会場で開催していただけるようにいたします。これにより、発表形態による会場の移動が最小限にできる見込です。多くのみなさまの参加をお待ちしています。



第63回日本放射線技術学会総会学術大会
大会長 神澤 良明

神澤 良明



国際医用画像総合展 (ITEM2007)も年々発展を続け、今回でちょうど20回目となります。

日本は少子高齢化時代を迎え、医療はより質が高く安全で優しいものへ向かっています。一方、医療を取り巻く環境は、改正薬事法、診療報酬改訂、医療法改正とともに国際統合化、安全性確保、IT化など大きく変わってきています。

このような変化に対応して、私たち(社)日本画像医療システム工業会 (JIRA)は、最新技術を搭載したさまざまな医療画像システムを提供し、医師・技師をはじめとする医療に関わる皆様とともに、診断精度の飛躍的な向上や新しい診断情報の提供、早期診断・早期治療、低侵襲で安全な医療に寄与してまいります。

3学会(第66回日本医学放射線学会学術集会、第63回日本放射線技術学会学術大会、第93回日本医学物理学学会学術大会)と同時開催されるITEM2007は「人と人」「人と技術」「技術と技術」が出会い、発展する場でありたいと願っています。多くの皆様の御来場をお待ちしています。



(社)日本画像医療システム工業会
会長 猪俣 博

猪俣 博



第93回日本医学物理学学会学術大会(JSMP2007)が2007年4月13日(金)～15日(日)の3日間にわたって「放射線医学の光と影」というメインテーマのもと、パシフィコ横浜会議センターで開催されます。

現在、医療を取り巻く情勢は、国民の高齢化と医療費の増大に伴い、医療費抑制の方向に働いております。また、医療事故などの顕在化により、医療事故対策や医療の品質管理体制が問われるなか、日本医学物理学学会(JSMP)では、特に放射線治療にかかわる医療被曝の品質管理のために、医学物理士および関連学会とともに治療品質管理士の育成に力を注いでおり、医学物理の面から日本における放射線医学の今後ますますの発展に寄与していきたいと考えております。

本大会では、会員皆様の素晴らしい研究発表を期待するとともに、シンポジウム、特別講演、教育講演、CyPos、市民公開講座などのJRCの合同企画に参加し、関係諸団体のご支援と会員皆様の多数の参加をお待ちしております。



第93回日本医学物理学学会学術大会
大会長 松本 政雄

松本 政雄